

# スマートシティの実現に向けた データプラットフォームによる支援について

---

国土交通省  
大臣官房 技術審議官  
五道 仁実

# スマートシティの実現に向けて

○国土全体に広がる3次元のデータベース「バーチャル・ジャパン」を官民で協力して構築する

Society5.0実現による日本再考～未来社会創造に向けた行動計画～（経団連 2017年2月14日）

○企業や人、行政・国土などあらゆる領域の変革に、データと技術は不可欠

Society5.0 -ともに創造する未来-（経団連 2018年11月13日）

都市・地域におけるインフラデータはじめ、官民の様々なデータを収集・見える化



## スマートシティ

様々な地域で、  
個別分野のシステム構築とともに  
都市・地域全体を分野横断的に最適化

防災・気象

エネルギー・環境

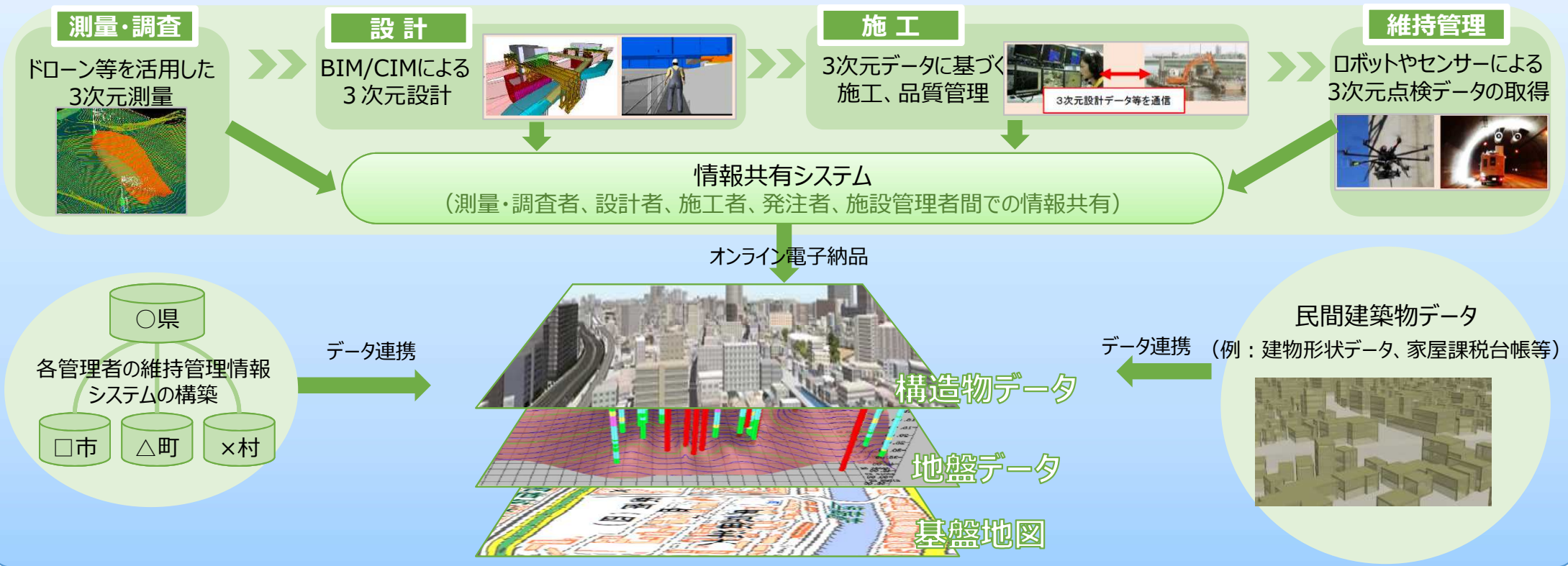
観光

移動、物流

安心なまち

# 国土交通データプラットフォーム

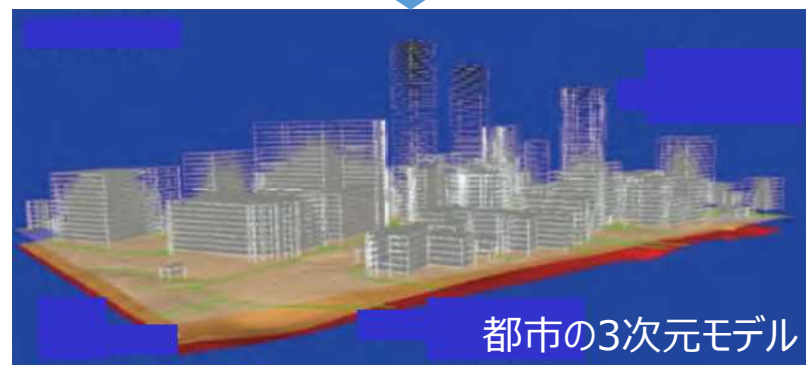
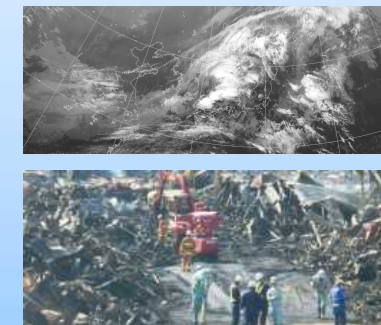
## 国土に関するデータ（インフラ・データプラットフォーム）



### 経済活動に関するデータ (人や物の移動等)



### 自然現象に関するデータ (気象・防災等)





2019年3月29日～4月12日

「国土交通データプラットフォーム整備計画（原案）」に対するの意見募集を実施

2019年5月30日

提出された意見を踏まえて、「国土交通データプラットフォーム整備計画」を策定

国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

令和元年 5月 30日  
大臣官房技術調査課

産学官連携によるイノベーションの創出を目指します

～「国土交通データプラットフォーム（仮称）整備計画」を策定しました～

国土交通省及び民間等が保有するデータを連携し、業務の効率化や施策の高度化、産学官連携によるイノベーションの創出を目指す「国土交通データプラットフォーム（仮称）整備計画」を策定しました。

国土交通省は、①建築物、地盤、地図など国土に関するデータ、②交通、物流、観光など経済活動に関するデータ、③気象、防災など自然現象に関するデータなどを多く保有しています。

当省では、これらのデータと民間等のデータを連携する「国土交通データプラットフォーム（仮称、以下同じ）」を構築し、フィジカル（現実）空間の事象をサイバー空間に再現するデジタルツインを実現することによって、業務の効率化やスマートシティ等の国土交通省の施策の高度化、産学官連携によるイノベーションの創出を目指しています。

今回策定した整備計画では、平成31年3月29日から平成31年4月12日まで実施した「国土交通データプラットフォーム整備計画（原案）」に対する意見募集の結果も踏まえ、プラットフォームの機能、利活用イメージ、整備方針等について記載し、まとめています。（別紙参照）

今後は、策定された整備計画に基づき、国土交通データプラットフォームの具体的な整備を進めてまいります。

&lt;問い合わせ&gt;

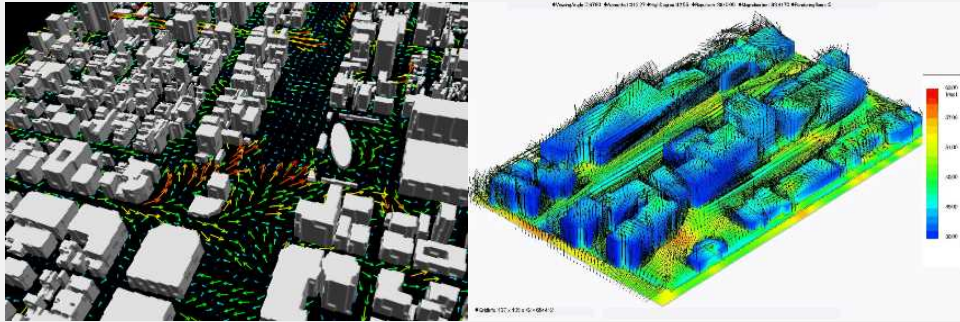
国土交通省 大臣官房 技術調査課

課長補佐 中西 健一郎（内線 22339）、事業評価係長 松葉 俊哉（内線 22326）

TEL:03-5253-8111（代表）、03-5253-8219（直通）、FAX:03-5253-1536

## ○都市計画

日照や風等の気象データを解析することで、最適なヒートアイランド対策を実現



出典：株式会社ウェザーニューズ 出典：株式会社環境シミュレーション

## ○物流効率化

ドローンによる荷物配送計画の検討への活用



(出典) 総合政策局資料より

## ○防災計画

人流データを解析することで、災害時の避難シミュレーションを実現



出典：株式会社構造計画研究所

出典：バーチャルシンガポール

## ○観光振興

リアリティのあるVR/AR体験やエンターテインメント分野への活用



(出典) 観光庁資料より